

中期 第6学年前半②	単元名：He is famous. She is great. Unit-3 (We Can!2) 【2/5 時間】
	主となる指導項目：音声コミュニケーション

### 本時のねらい

・好きなものやこと、欲しいもの、日頃することの表現について、「主語＋動詞＋目的語」の語順に気付くことができる。

#### 【収録されている活動 (◆:本時のねらいにつながる主となる活動)】

#### 【前時の復習をしよう】

前時に学習した表現と単語を組み合わせて聞いたり発音したりしながら、定着を図ります



#### 【前時の復習をしよう】

- ☆目的語カード (math 等) がどの動詞カードの後に続くかを考えさせることで、これらの単語を使った文に慣れ親しませる。
  - ・T: "I eat math..." "I play math..."、S: "Study!!"、T: "Oh! I study math!"
    - 児童に正しい表現に気づかせていく。
- ☆「play」の「l (エル)」などの特殊な発音について、修正が必要なときには、ALT に適宜指導してもらう。

#### 【語順について考えよう : Let's Watch and Think2】

- ☆児童が自信をもって、聞き取った内容を発表できるように、デジタル教材の内容をALT がゆっくり言い直すなど、聞く活動を工夫する。(聞きなれた英語の発音のため、聞き取れる語数が増える。)
- ☆自作教材として、校内の先生にVTR に登場してもらうと、児童もより興味をもって取り組める。

#### ◆【語順について考えよう】

音声で慣れ親しんだ表現について、カードを並べて文を作らせ、日本語との語順の違いに気づかせます



#### (語順への気付きについて)

- ☆語順については文法を指導するのではなく、気づきを大切にする。  
(主語・動詞などの用語は使わない)
- ☆教師がわざと間違えてカードを置き、語の並びを発音することで、今までの学習で慣れ親しんだ表現とは異なることに気づかせることができる(正しい語順に気づく)。
- ☆絵カードを色分けする(主語は赤、動詞は青など)などの工夫をする。  
→文字だけでなく絵カードの色も手がかりに、主語+動詞の語順に、気づかせる。
- ☆カードを使って文を作ること、視覚的に文構造に気づかせる。

#### ◆【好きな物等を伝え合おう】

カードを並べて自分が表現したい文を作らせ、お互いに伝え合わせながら、語順についての気付きを確認させます



#### 【好きな物等を伝え合おう】

- ☆語順を意識しながらカードを並べ、好きな物や欲しい物等について自分のことを表現させる。
- ☆自分のことを話すだけでなく、相手にも "How about you?" と尋ね、会話へつなげる。
  - \* 会話へつなげる工夫
    - ① 繰り返し：相手の話した内容に対して、中心となる語や文を繰り返して確かめる。  
"I like ○○." → "Oh! You like ○○!"
    - ② 一言感想：相手の話した内容に対して、自分の感想を簡単に述べ、理解していることを伝える。  
"I like ○○." → "Oh! You like ○○! Oh! Nice!"

\* あいさつ・振り返り等は省略しています